



袖之山

地域資源を存分に活用

サクラ・歴史を中心に



文化を後世に引き継ぐという3つの基本目標を掲げ、今年、4年目を迎えている。

「言わずと知れた地域のシンボル『シダレザクラ』や袖之山コミュニティセンターの前身である『安養寺』、同寺とともに村寺として存在した『袖之山惣道場』、それらに関連する歴史や文化財を多数抱える袖之山地区は、そうした地域資源を存分に生かしたプロジェクトを実行している。

例えば、地元住民で組織する「袖之山しだれ桜保存会」と連携して、サクラの保全だけでなく「舟石」までの遊歩道を整備。あわせて袖之山コミュニティセンター敷地内に、同所が安養

寺の跡地であることを伝える石碑や、同所に移設された袖之山惣道場の石造物について説明する看板を設置した。

また、シダレザクラの開花時季および町のイベント「花めぐり」にあわせて開設している「農産物直売所」を拡充。22年には、直売所開設前日に「シダレザクラと伝統和楽器を楽しむタベ」を開催した。このほ



安養寺跡地であることを伝える石碑を設置した



今年もシダレザクラの開花にあわせて開かれた農産物直売所

かにも、袖之山地区の歴史や文化財をまとめたパンフレットを作成。町の天然記念物に指定されている「トウギョ」の生育調査を行い、保全する活動にも取り組んでいる。

20年から22年の3年間は、コロナ禍の影響で農産物直売所の開設をはじめとする行事の開催が思うようにいかないことも多々あったようだが、そんななかでも試行錯誤を繰り返しながら

普光寺部 西

散歩で多世代交流

「桜の丘」を交流の場に

普光寺西部地区は、住民グループ「楽々委員会」を結成して、集落創生事業に取り組んでいる。

計画を策定した当初、同地区には多くの高齢者と子どもが暮らしているが、交通量の増加や子どもたちの遊び方の変容により、地区内を歩く人が減少。それに伴って近所付き合いも減ってしまったことを地域の課題として捉えていた。また、

同地区には子どもが多いことから、地域の子もたちが大人になった時に「楽しかった地元の思い出」として少しでも残るようなことをしようという画策。「高齢者や子どもが安全に住める地域をつくること」「地域の役員などの負担を少しでも軽減していくこと」「イベントを開催し、多くの幅広い年齢層の住民が参加し、かつ楽しめる地域にするこ

と」「地元の歴史や文化を学ぶことで愛郷心を高くし、暮らしを豊かにすること」を基本目標として、さまざまな事業を展開することにした。なかでも特徴的なのは、地区内に散歩道をつくり、楽しむプロジェクト。地区内のサクラの名所をゴールにした散歩ルートをつくり、住民が集って歩くイベントを開催した。ゴールでは、舞や雅楽の演



夏祭りや雪遊びも行い、四季を通して子どもも大人も楽しめるイベントを実施している

奏、野点を楽しむ催しが行われ、子どもから高齢者まで多くの住民が優雅な時間を過ごした。

女しよのみなさん！

ら事業を継続している袖之山地区。もともと以前から取り組んでいた農産物直売所の開設については、集落創生事業を活用して、イベント内容のブラッシュアップを試み、担い手の世代交代もできたようだ。

3月8日の国際女性デーにあわせて長野市で「地域づくり女しよ会議」というイベントが開催されました。どいうやらこの催しは、いわゆる男尊女卑的な考えから、自治会活動をはじめとする地域活動に女性がなかなか参加しにくかったり、参加したとしても男性と対等な立場で活動しにくかったりといった実態に対する問題意識がきっかけになったようです。

飯綱町はどうでしょう？この問題は、本当に複雑で、さまざまな意見・思いがあると思います。ただ、飯綱町にも少なからずあるであろうこの問題を少しでも改善する糸口をしようと、集落創生事業では、「若者と女性が過半数を占める検討組織等を組織して、多様な意見を反映した計画」を立てることを推奨しています。今まで集落の活動に出ていく機会がなかった、出ていきたくて思っていたけど何となく遠慮していたという女しよのみなさん、ぜひこの機会に一步踏み出してみませんか？全力でサポートさせていただきます！(三原)

集落創生事業とは

飯綱町では、集落の「機能維持」と「活性化」が喫緊の課題であるという考えのもと、2016年に「集落創生事業」をスタートさせました。具体的には、各集落で、課題を洗い出し、希望する将来の姿について考え、話し合ってもらい、同時に、その将来像の実現に向けて実際に動いてもらうというものです。町はこの取り組みを促進するため、おおむね5年を目安に上限300万円を、その前段階として計画を策定することに対して上限5万円を交付しています。

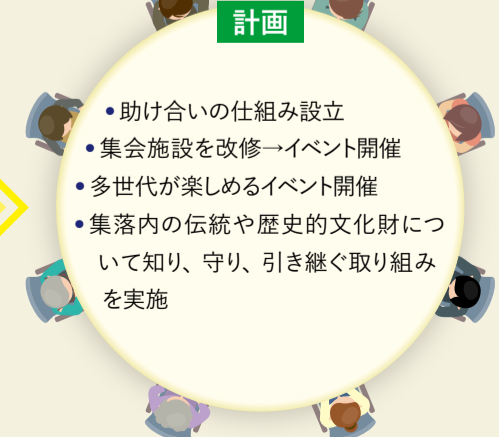
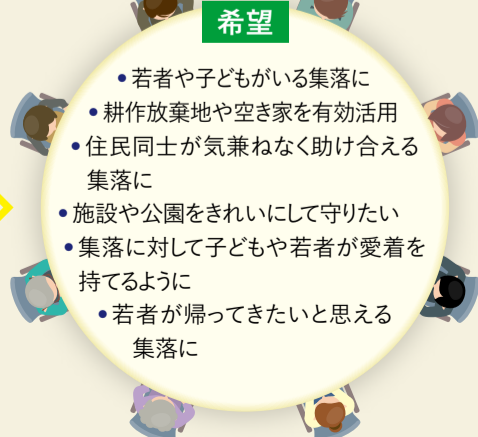
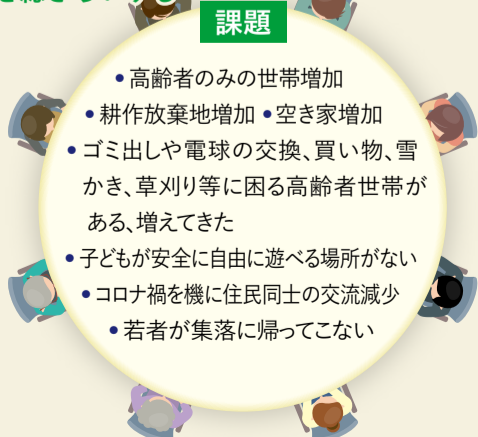
現在(2023年7月時点) 御所之入・福井団地が計画策定中!!

- ①事業の中心となる住民グループ(委員会)を結成
- ②集落の課題を総ざらいする

③集落の将来を考える

- ④事業計画をつくる
- ⑤事業を実施する

集落創生事業実施までの おおまかな流れ



地域おこし協力隊 現役・OB隊員紹介

地域おこし協力隊の任務はそれぞれですが、その目的は「地域力の創造」と「地方の再生」であり、集落創生事業の目的と同じです。飯綱町には、現役・OB問わず、さまざまな分野の知識やノウハウを持った協力隊がいますので、集落創生事業の検討・計画段階で「こんなことをやりたいけど、知識やノウハウが集落内にはない…」と困った時には、ぜひ協力隊をご用命ください。(敬称略)



山城 竜星
【任期】
2021年12月～
【主な任務】
農産物の栽培支援
(養蜂など)

【できること】

ニホンミツバチの保護を目的としたハチの巣の移動をお手伝いします。お盆前のお墓の掃除などでハチの巣を見つけて、お困りの際は、ご相談ください。特殊作業が必要だったり、危険を伴ったりする場合はお断りすることがあります。まずは現地の確認をさせていただきます。(アシナガバチ、スズメバチは対象外)

【問合せ】

☎ 026-253-4765 (町農政係)



中嶋 真也
【任期】
2021年7月～
【主な任務】
ふるさと納税のPR
サポート

【できること】

現在は、飯綱町のふるさと納税をPRするために必要な返礼品や農家さんを紹介するWebページ、ポスター、チラシ用の写真撮影およびグラフィックデザイン、Instagramの運用を行っています。名刺やショップカードのデザインもできます。

【問合せ】

☎ 026-253-2512 (町地域振興係)
✉ d.msy.0823@gmail.com



岩井 敦史
【任期】
2023年1月～
【主な任務】
空き家バンクの運営、
空き家の活用推進

【できること】

空き家に関して困っていること、気になっていることがありましたら、お気軽にご相談ください。片付けや草刈り、修理・修繕のほか、空き家の有効的な活用のお手伝いもできます。また、地域の空き家に関する情報(気になっていることでもOK)がありましたら、お寄せください。

【問合せ】

☎ 026-253-2512 (町地域振興係)
✉ iizunaakiya2023@gmail.com



三原 彩音
【任期】
2023年1月～
【主な任務】
集落創生事業の推進、
集落の活性化

【できること】

「やりたいと思っているが何からすれば良いかわからない」という段階から、計画策定、事業実施まで、集落創生事業全般をサポートします。話し合いの進め方や事業内容のアイデア、提出書類の作成など、なんでもご相談ください。事業にかかわらず集落のお困りごとがありましたらご相談ください。

【問合せ】

☎ 026-253-2512 (町地域振興係)
✉ ayane.172@gmail.com

Attention

- 今回紹介した7人を含めて、現役の地域おこし協力隊は9人、OB・OGは15人(転出した人含む)います。第3号以降で、順次、紹介できたらと考えています
- 協力隊の任務から離れる事業(個人事業)についての詳細および必要な経費(人件費含む)などは、直接ご確認・ご相談ください
- 町内で事業を展開している個人事業主や企業、団体の方で、集落創生事業の主旨や内容について理解し、この紹介コーナーに登場いただける方は、協力隊・三原までご連絡ください



眞鍋 知子
OG
【現在の仕事】
合同会社 馬と
代表社員
(株)カンマッセ
いづな所属

【できること】

飼っているポニーとともに事業を展開中。人がオドオドしていたり、力づくで引っ張ったりすると、馬は言うことを聞いてくれない特性があります。これを生かして人間社会のコミュニケーションやリーダーシップを学ぶ体験ができます。地域で役を引き受けることになったけど自信がない…という方は、一度お試しください!

【問合せ】

✉ manabe@umato.co.jp



植田 麻緒
OG
【現在の仕事】
(株)カンマッセ
いづな所属
泉が丘喫茶室・泉
が丘キッチンディレクション

【できること】

地域行事へのキッチンカーまたはブースの出店、承ります!ケーキやドリンク、軽食など内容はご要望によってご提案します。行事や記念の場面におすすめのメッセージ入りクッキーなど、お菓子のノベルティ制作や地場食材を活用した商品開発のお手伝いもできます。「食」による地域活性化をお考えの際はぜひご相談ください。

【問合せ】 ☎ 026-253-3211



原口 光雄
【任期】
2023年5月～
【主な任務】
いづなアップルミュージアムの学芸員業務

【できること】

アップルミュージアムの展示室やギャラリーホール、芝生広場を活用した企画展やイベントの開催をサポートします。また、ミュージアムの見学会も受け付けています。お子さまにおすすめです。個人としては、動画制作(企画・撮影・編集・公開)やSNSの運用の業務請負やサポートに取り組んでいます。

【問合せ】

☎ 026-253-4765 (町商工観光係)
✉ studiohinatamichi@gmail.com

集落創生 福祉と両輪で
地域福祉の推進や地域共生社会の実現について考え、学ぶ機会にしようとして、6月14日、「地域福祉フォーラム」が開催された。フォーラムでは、飯綱町社会福祉協議会が進めている、住民が地域の課題について話し合い、共有し、課題解決にむけて活動する組織「つながり隊」の紹介や、「近所クリエイター」という肩書を持ち、全国各地で講演活動を行っている酒井保さんの講演が行われた。「ポストコロナ 新時代の地域づくり」いま一人ひとりが「できること」

とかが「できること」というテーマで展開された酒井さんの講演。コロナ禍の影響で介護認定率や認知症出現率が増加するなか、フレイル(加齢により心身が老い衰えた状態)を予防するには、高齢者の社会参加が最も重要であることが語られた。集落創生事業の議論でも、高齢者にまつわる課題は必ず挙がる。簡単ではないが高齢者が気軽に外出したり、役割を持って参加したりできるような機会を地域でつくるなど、できることから取り組むことが地域の未来を前向きに変えることに繋がるのではないだろうか。

飯綱町集落創生新聞「ORAHO」を起爆剤に
「集落創生事業」の町内各地の事例紹介や事業の周知・促進を目的に今年4月に創刊しました。今回はその第2号です。各集落で事業に取り組むきっかけになれば…という思いで作成しました。今号は、2地区の事例とともに地域おこし協力隊の現役・OB隊員紹介をさせていただきます。地域を良くしたい!という思いを同じくする地域と協力隊がつながり、地域にとっても協力隊にとっても有益で面白いコトが生まれることを願います。(三原)

よくある Q & A

▶ 担当の橋詰さん(町地域振興係)に聞きました

- Q1** 自分と区や組だけでは人手が足りない。他の区や組と一緒に取り組むのはあり?
A1. あります。複数の区または組が、共同で計画策定や事業実施する形もOKです
- Q2** やってみたい!と思っているけど、まずは何からしたら良い?
A2. 区長または組長さんに相談しながら、同じ区または組の中で同じ思いを持つ人や共感してくれる人を集めて、住民グループ(委員会)をつくりましょう。老若男女問わず、さまざまな立場の住民の方がかかわる形をめざしましょう
- Q3** 集会施設の改修や区または組の備品の購入に使いたい!
A3. ソフト事業を伴わない単なる集会施設の改修や備品の購入のためだけに交付金を使用するのはNGです。ちなみに…集会施設の改修については別途、企画課に相談を。条件次第で別の補助制度が利用できます
- Q4** 計画を策定したが、事業を実施せずに頓挫してしまった、もしくは、1~2年ほど事業を実施したがその後停滞しているので、再開させたい。できる?
A4. もちろんできます。必要があれば、計画・事業内容の変更もできます。一度ご相談ください

その他、どんな些細なことでも構いません
疑問や気になることがありましたら、お気軽にご相談ください
(問) 飯綱町役場 企画課地域振興係・地域おこし協力隊 ☎026-253-2512